

日 時：平成 29 年 9 月 2 日（土）10:00～11:30

出 前 先：大和郡山市社会福祉会館

受 講 者：郡山地区社会福祉協議会の会員の皆様（55 名）

講 師：菅野耕三先生（大阪教育大学名誉教授）

授業題目：「郡山の地盤と自然災害－備えましょう－」

郡山地区社会福祉協議会 保険・生活部会，地域安全部会が主催された「防災講演会～いつ起こるか分からない自然災害に備えて～」において本出前授業を実施しました。受講者は，大和郡山市社会福祉協議会会員の皆様に，55 名の方々が聴講されました。講師は，大阪教育大学名誉教授の菅野耕三先生にお願いしました。

講演では，はじめに近年日本各地で頻りに発生している地震や豪雨災害の事例を紹介され，災害が常に身近に起こりうるものとして，備えの重要性を指摘されました。次に，ピサの斜塔，薬師寺，JR 大阪駅プラットフォーム，関西国際空港といった馴染みの深い構造物，施設の例を取り上げて，これらの構造物における地盤の重要性，地盤工学会の活動等について紹介いただきました。

続いて備えの重要性と具体的な方策について説明いただきました。地震災害に関しては，地震災害の複合災害としての側面，長野県白馬村等の事例にみられる自主防災組織の重要性と必要となる施設や工具，個々の家庭における耐震補強，転倒防止，通電火災への対応の重要性など様々なレベルでの「備え」と訓練の必要性を指摘されました。豪雨災害に関しては，マンホールや側溝からの水の危険性やアンダーパスでの被害について写真等を交えて紹介され，道路に水が溢れている場合には避難が危険であることを強調されました。

また，大和郡山市における地盤の特徴や土地利用状況の変遷を紹介いただき，特にため池堤体の耐震性，およびため池を埋立利用した土地における地震災害の甚大化の可能性について強調されました。最後に先生は，正しい防災知識に基づき，命を守るために自らが判断する自助，およびご近所同士での共助が最も重要であることを強調され，講演を締めくくられました。講演終了後も参加された皆様から熱心な質問が続き，皆様の防災への意識の高さが伺えました。

文責：乾 徹（京都大学）

